

日医標準レセプトソフト クラウド版
CLAIM 接続利用手順

ベンダー向け

2019年9月30日

日本医師会 ORCA 管理機構株式会社

目次

1	更新履歴	2
2	概要	3
2.1	動作環境	3
2.2	インストール及び設定	3
2.2.1	Windows 環境	3
2.2.2	Linux 環境	5
2.3	動作の確認	6

1 更新履歴

2017-08-23 バージョン : 0.0.5

- ・初回リリース

2017-11-24 バージョン : 0.0.6 ※Windows 版のみ

- ・インストール時に作成される設定ファイルの記載ミスを修正

2018-08-06 バージョン : 0.0.8 ※Windows 版のみ

- ・ Windows 32bit 版対応
- ・ 設定で host を指定できるように修正

2018-10-12 バージョン : 0.0.9 ※Windows 版のみ

- ・ Ruby 2.5 対応
- ・ 依存 gem パッケージの更新

2019-08-09

- ・ 証明書共通化のためドキュメント更新

2019-09-30

- ・ TLS1.2 接続サービス提供のためドキュメント更新

2 概要

ベンダー及び医療機関が claim-receiver を利用するための手順を以下に記述する。

2.1 動作環境

claim-receiver は以下の環境で動作可能である。

1. Windows 7,8,10(32bit/64bit)
2. Ubuntu
 - Ubuntu 16.04
 - Ubuntu 18.04

2.2 インストール及び設定

インストール及び設定手順は OS により異なる。

2.2.1 Windows 環境

2.2.1.1 インストール

以下のリンクからインストーラをダウンロードし実行する。

- <https://ftp.orca.med.or.jp/pub/data/receipt/download/windows/ginbee/claim-receiver-installer-0.0.9.exe>

2.2.1.2 設定

「インストール先フォルダ\config.yml」を編集することで行う。システム管理サイトのテナント管理から取得した API キーおよびクライアント証明書などを設定する。

```
---
:host:      0.0.0.0
:port:     18210
```

:api_path:	/api21/claimreceivev2
:api_user:	ormaster
:api_key:	23b6f9b1583e5314db6ca52c94c5c1c4376cb8af4ed5d77d363ce435f94e9cc1
:api_server:	ap-proxy.orca.orcamo.jp
:api_port:	8080
:use_ssl:	true
:ca_cert:	"C:/Users/xxx/Desktop/work/ginbee-stg/cert/ca.crt"
:cert:	"C:/Users/xxx/Desktop/work/ginbee-stg/cert/001423__JP_u00000452_client1423.crt"
:cert_key:	"C:/Users/xxx/Desktop/work/ginbee-stg/cert/001423__JP_u00000452_client1423.pem"
:passphrase:	""
:log_file:	"C:/Program Files (x86)/claim-receiver/log/claim-receiver.log.txt"
:log_level:	debug
:claim_xml_dir:	"C:/Program Files (x86)/claim-receiver/tmp/claim_xml"
:claim_xml_limit:	100

以下に設定すべき項目を挙げる。これ以外の項目はデフォルトで問題ない。

設定項目	説明
host	claim-receiver が listen する host 名 ※デフォルトは 0.0.0.0 ※インストール時の設定ファイルには項目が含まれていないため、明示的に指定したい場合のみ追記する
port	claim-receiver が listen するポート番号
api_server	VPN 経由の場合・・・ap-proxy.orca.orcamo.jp TLS1.2 接続サービスの場合・・・ap-proxy.glorca.orcamo.jp
api_key	API キー
ca_cert	CA 証明書ファイルのパス
cert	証明書ファイルのパス
cert_key	証明書秘密鍵ファイルのパス
Passphrase	証明書秘密鍵ファイルのパスフレーズ

:ca_cert、:cert、:cert_key、:log_file、:claim_xml_dir はダブルクォートで括った方がトラブルになりにくい。またパス区切り文字は「¥」ではなく「/」となっていることに注意が

必要である。

2.2.1.3 起動手順

Windows のコントロールパネルから「サービス」を開く。サービス一覧から ClaimReceiver を選択して右クリックメニューから「起動」する。

2.2.2 Linux 環境

2.2.2.1 インストール

日レセ 5.0 の apt-line を設定し以下のコマンドを実行する。

```
% sudo apt-get install claim-receiver
```

2.2.2.2 設定

/etc/claim-receiver/claim-receiver.yml を編集することで行う。sms のテナントから取得した API キー、証明書などを設定する。

```
---
:port: 8210
:api_path: /api21/claimreceivev2
:api_user: ormaster
:api_key: thiesicoh0EiNai8quie8enieP2tooYo
:api_server: ap-proxy.orca.orcamo.jp
:api_port: 8080
:use_ssl: true
:ca_cert: /etc/claim-receiver/certs/ca.crt
:cert: /etc/claim-receiver/certs/001423__JP_u00000452_client1423.crt
:cert_key: /etc/claim-receiver/certs/001423__JP_u00000452_client1423.pem
:passphrase: uCNdGMRk27kukuAE
:log_file: /var/log/jma-receipt/claim-receiver.log
:log_level: info
:claim_xml_dir: /var/tmp/claim-receiver/
:claim_xml_limit: 100
```

以下に設定すべき項目を挙げる。これ以外の項目はデフォルトで問題ない。

設定項目	説明
port	claim-receiver が listen するポート番号
api_server	VPN 経由の場合・・・ap-proxy.orca.orcamo.jp TLS1.2 接続サービスの場合・・・ap-proxy.glorca.orcamo.jp
api_key	API キー
ca_cert	CA 証明書ファイルのパス
cert	証明書ファイルのパス
cert_key	証明書秘密鍵ファイルのパス
passphrase	証明書秘密鍵ファイルのパスフレーズ

2.2.2.3 起動手順

コンソールから以下のコマンドを実行する。

```
% sudo service claim-receiver restart
```

2.3 動作の確認

サーバの起動、リクエスト受信、日レセ API サーバの通信等がログに記載されるので、それを確認する。また:claim_xml_dir に受信した CLAIM インスタンスが保存されるのでそれを参照する。

日レセ API に接続できない場合はログに以下のように出力される。

その場合は:api_key、:api_server、:ca_cert、:cert、:cert_key、:passphrase が正しいか確認する。または:api_server に通信可能かどうか確認する。

```
I, [2016-08-19T09:25:43.366746 #15014] INFO -- : /api01rv2/claimreceivev2 error
I, [2016-08-19T09:25:43.366816 #15014] INFO -- : Failed to open TCP connection
to localhost:9201 (Connection refused - connect(2) for "localhost" port 9201) (E
rrno::ECONNREFUSED)
```

```
/usr/lib/ruby/2.3.0/net/http.rb:882:in `rescue in block in connect'  
/usr/lib/ruby/2.3.0/net/http.rb:879:in `block in connect'  
/usr/lib/ruby/2.3.0/timeout.rb:91:in `block in timeout'  
/usr/lib/ruby/2.3.0/timeout.rb:101:in `timeout'  
/usr/lib/ruby/2.3.0/net/http.rb:878:in `connect'  
/usr/lib/ruby/2.3.0/net/http.rb:863:in `do_start'  
/usr/lib/ruby/2.3.0/net/http.rb:852:in `start'  
/usr/lib/claim-receiver/claim_receiver.rb:122:in `http_post'  
/usr/lib/claim-receiver/claim_receiver.rb:93:in `send_claim'  
/usr/lib/claim-receiver/claim_receiver.rb:70:in `block (2 levels) in start'
```